

2018年1月吉日

各位

日本建築学会近畿支部材料・施工部会
近畿生コンクリート圧送協同組合

第14回圧送技術研究会開催のご案内

拝啓 初春の候、貴職ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から、コンクリート圧送に対するご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、恒例となりましたコンクリート圧送・ポンプ工法に関する研究会も第14回を開催することになりましたので、ご案内申し上げますとともに、是非ともご出席を賜りますようお願い申し上げます。

近年は、コンクリート構造物の仕様やコンクリート用材料も大きく変化し、特に高強度コンクリートや高流動コンクリートの施工性やポンプ圧送性は大きな影響を受けております。

そこで日本建築学会近畿支部材料・施工部会では、ポンプ工法に関する技術の向上や、圧送性評価手法の確立、安全施工などについて、総合的かつ技術的に検討することを目的として、2004年に部会内に「ポンプ工法研究会」（以下WG）を組織し、近畿生コンクリート圧送協同組合と共同で研究活動を継続的に行い、これまでに13回の圧送技術研究会を開催して参りました。

第1回圧送技術研究会では、ポンプ工法に関するさまざまな問題が提示され、その後のWGにおいて取り組むべき課題として、①各種コンクリートの圧送性の把握、②ポンプ圧送に伴う品質変化の状況と予測の方法、③圧送性を評価するための試験方法の開発、④管内圧力損失の推定と指針による定数の検証、⑤管内流動のメカニズムに関する検討、⑥圧送性を評価するためのソフトの開発、⑦施工法の改善に関する検討、⑧圧送性に関する全国調査、の8項目があげられました。これらの課題を解決することに加えて閉塞危険性を評価することを目的として、2005年よりこれまでに、材料や調合、圧送距離などを要因とした11回のField実験や、作業所における計測を行い、コンクリートの圧送性について検討を重ねて参りました。その結果、各種コンクリートの管内圧力損失を推定するための式を提案し、

2006年に圧送性評価ソフトを開発し、その後4回のバージョンアップを行ってきたところです。また、年1回の割合で開催している圧送技術研究会では、建設機械や安全に関する事項をはじめ、最新の技術などについて基調講演で情報を聴講者に提供するとともに、実験で得られた成果を報告し、毎回全国から約300人の参加をいただきました。

そして本年度も第14回圧送技術研究会を平成30年2月16日（金）「大阪工業大学梅田キャンパス」にて開催いたします。今回は第12回Field実験(2017)での「ブームの姿勢が圧送性に及ぼす影響と安全性に関する評価」を中心として、これまでの経緯と併せて報告を行います。

より広範囲な皆様の関心の中で、より良いコンクリート構造物をめざしている関係各位に参加を呼びかけるものです。品質・技術に熱意ある貴職におかれましては、是非ともご出席を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

開催日時：2018年2月16日（金） 13:00～17:00

開催場所：大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー 3階 常翔ホール
〒530-0013 大阪市北区茶屋町1番45号

参加費：3,000円 ※研究会資料込み

以上

- お問い合わせについては、近畿生コンクリート圧送協同組合06-6328-3900まで
- 会場の用意もご致しますので、お手数ですがご出欠の有無を、2月14日（水）までにFAXにてご返送下さい。
- 尚、参加費は研究会資料込みで3千円です。お手数ですが、参加費は当日受付でお支払い下さい。領収書はその際発行します。
- また、研究会直後に O I T梅田タワー 21階 「リストランテ翔21」で懇親会を開催致します。研究発表に対するご意見やご質問をご気軽にされたり、各方面の方々の交流をはかって頂く場と考えております。今後とも継続的な研究の場を作っていく上でも、是非懇親会ご参加をお願い申し上げます。懇親会の参加費は無料です。

近畿生コンクリート圧送協同組合
F A X 0 6 - 6 3 2 8 - 3 9 0 1

第14回圧送技術研究会 ー ブームの姿勢が圧送性に及ぼす影響と安全性に関する評価 ー	
ご欠席	
ご出席	お名前 () 所属 () 役職 () () () () () () () () () ()
貴社（団体）名 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 電話番号 F A X 番号 </div>	

同「懇親会」	
ご欠席	
ご出席	お名前 () 所属 () 役職 () () () () () () () () () ()
貴社（団体）名 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 電話番号 F A X 番号 </div>	

第14回圧送技術研究会(案) — ブームの姿勢が圧送性に及ぼす影響と安全性に関する評価 —	
日 時	平成30年2月16日(金) 13:00～17:00
場 所	大阪工業大学 梅田キャンパス OIT 梅田タワー 3F 常翔ホール 〒530-0013 大阪市北区茶屋町1番45号
共 催	一般社団法人 日本建築学会近畿支部 材料・施工部会 近畿生コンクリート圧送協同組合
後 援 (予 定)	公益社団法人 土木学会 公益社団法人 日本コンクリート工学会近畿支部 一般社団法人 大阪建設業協会 全国生コンクリート工業組合連合会近畿地区本部 コンクリート用化学混和剤協会 一般社団法人 全国コンクリート圧送事業団体連合会(全圧連) 一般社団法人 日本建設機械工業会
司 会	
主催者挨拶	豊田明彦 (近畿生コンクリート圧送協同組合 理事長)
来賓挨拶	(大阪府都市整備部事業管理室技術管理課)
研究報告	報告1. 第12回Field実験の概要 ポンプ工法WG委員 報告2. 圧送前後のコンクリートのフレッシュ性状の評価 杉本勝幸(株式会社オーテック) 報告3. ブーム輸送管の管内圧力および管内圧力損失の評価 岩清水 隆(株式会社竹中工務店) 報告4. ひずみから推定したブームの輸送管に生じる応力の状況 ポンプ工法WG委員 報告5. 振動加速度の計測による圧送性の評価 橋本紳一郎(福岡大学工学部 社会デザイン工学科) 報告6. コンクリートポンプ車の主油圧・吸込み効率とブーム先端の動きの状況に関する考察 高見錦一(株式会社浅沼組) 報告7. コンクリートポンプ車のブームに生じる応力の評価 山田 藍 (株式会社竹中工務店) 報告8. コンクリートポンプ車のアウトリガー反力に関する考察 岩竹秀昭(村本建設株式会社) 報告9. ブーム付きコンクリートポンプ車の安全性に関する考察 山崎順二(株式会社浅沼組)
まとめ・総評	中村 成春 (大阪工業大学工学部建築学科) (一般社団法人日本建築学会近畿支部 材料・施工部会 主査)

第14回

ブームの姿勢が圧送性に及ぼす 影響と安全性に関する評価

圧送技術研究会



2018
2.16 (金)
13:00 ~ 17:00

会場

大阪工業大学梅田キャンパス
3階 常翔ホール
大阪市北区茶屋町1番45号

◆ 共催
一般社団法人 日本建築学会近畿支部 材料・施工部会
近畿生コンクリート圧送協同組合
連絡先 〒533-0032 大阪市東淀川区淡路 3-6-31
TEL.06-6328-3900 FAX.06-6328-3901

◆ 後援 (予定)
公益社団法人 土木学会
公益社団法人 日本コンクリート工学会近畿支部
一般社団法人 大阪建設業協会
全国生コンクリート工業組合連合会近畿地区本部
コンクリート用化学混和剤協会
一般社団法人 全国コンクリート圧送事業団体連合会 (全圧連)
一般社団法人 日本建設機械工業会
◆ 参加費: 3000円 (資料代含む)



・会場へのアクセス

■ JRでお越しの方は	
大塚駅	梅田駅まで約40分
京橋駅	梅田駅まで約25分
三ノ宮駅	梅田駅まで約21分
船場駅	梅田駅まで約17分
船場山本駅	梅田駅まで約17分
船場新町駅	梅田駅まで約17分
船場元町駅	梅田駅まで約17分

■ 阪急電車でお越しの方は	
河原町駅	梅田駅まで約45分
新大塚駅	梅田駅まで約25分
宝塚駅	梅田駅まで約27分